

# 松 緑 白 花

Vol 20

石垣市立石垣中学校  
教 頭 市原 教孝

## 9/13(日) 祝・バスケット部が男女アベック優勝 第4回 1-グ けっか

男子バスケット部(入嵩西義士主将2-1)、女子バスケット部(伊良部由衣主将2-2)とも新チーム初の公式戦。男子はチェックの厳しいディフェンスと確実なシュート力で本島からの招待チーム・真志喜中(宜野湾市)をも圧倒する強さをみせた。女子は二中



と前半競り合ったものの3Qで大きくリード、伊良部由衣さん(1-4写真右)も無事戦力として復帰、選手層の厚さをみせた形。両チームとも驚きの強さでアベック優勝を飾った。おめでとう。MVPには平良優考君(2-2写真左)、伊良部由衣さん、また大会を通じて最も活躍が著しかったという平良一洋君(2-5)には特別賞が授与された。

### 【男子】

1回戦：真志喜中97-24石中B、石中A128-13二中、準決勝：石中A67-18大浜中、決勝：石中A70-41真志喜中

### 【女子】

準決勝：石中57-18伊原間中、決勝：石中52-38二中

## 9/13(日) 祝・サッカー部も地区優勝 第6回高円宮杯U-15サッカー大会八重山予選



サッカー部(金城竜馬主将)3年生にとって最後大会。地区予選は石中・二中・大中が各10試合を行う試練の総当たりリーグ。結果は本校が8勝2敗でトップとなり、10月3日から始まる県大会出場を決めた。おめでとう。最終戦は崎原夢希君(2-4写真左)が5ゴール、大濱善俊君(2-2右)が4ゴールを決める活躍。

- 石中2-1二中(得：安富、渡辺)、○石中3-1大中(得：久高2 金城太)、
- 石中7-0大中(得：金城竜2、金城雅、大濱、安富3)、
- 石中9-2二中(得：安富3、根間3、金城竜2、入福濱)、

- 石中2-3二中(得：大嶺、上地)、○石中8-1大中(得：長間、大濱3、安富、普久原、崎原2)、
- 石中4-2二中(得：片宗、大濱、稲福、上地)、○石中5-0大中(不戦勝)、
- 石中2-3二中(得：金城竜、安富)、○石中10-1大中(崎原5、大濱4、金城太雅1-5写真→)



## 9/12(土) 石中職員炎上 社会人野球で消防に大敗

石垣市消防000046 | 10 投：新崎尚武(写真左)、南和秀(右)  
石垣中職員000000 | 0 捕：上江洲茂人、波照間督起

【戦評】相手先発は甲子園球児・仲里拓臣選手(本校卒業生)。恩師相手に遠慮のない全力投球。しかし試合は味方の予想にも反して4回まで0-0の膠着(こうちやく)状態。5回、エース尚武投手が無死1・2塁から、バント処理を1塁へ剛速球を投じたことから2点を献上。ここからおなじみ「石中劇場」が開幕。お笑いプレーの連続。6回は救援の校長先生も味方に足を引っ張られて火だるま状態。消防は炎上する我がチームに最後まで容赦なかった。



## 9/12(土) 落合巧君(3-5)が組手優勝 第2回善雄杯空手道大会

形の部③位：小川秀雄(3-2)、男子組手の部①位：落合巧(写真左)、同②位：小川秀雄(右)



## 9/12(土) 坂名城恵美さん(3-3)が2位 第25回市水泳選手権大会

50Mバタ③位：又吉克樹(1-5)38"02、50M平②位：坂名城恵美51"44、50M自由②位：坂名城恵美39"98



## 本当の友達

石垣中学校

前山 純

「本当の友達って何？」皆さんは、こう思ったことはありませんか。ほとんどの人々にとって、友達を作ることは難しい事ではありません。真実の友情を築くのは私たちの人生においてとても価値のあることです。

私は8歳のとき、石垣島から岡山県へ引っ越しました。岡山に着いた時、もはやなじみのある場所ではないということで、私は不安でいっぱいでした。これまでと異なる景色、におい、気温など、はじめはカルチャーショックでよく眠れず、食欲もあまりありませんでした。幸運なことに、4名のフレンドリーなクラスメイトが私に話しかけてくれました。彼らは新しい土地のことを色々教えてくれました。私たちは、ふざけたりしながらもたくさんの時間を共に過ごし、よく一日中、山で遊んだりもしていました。小学校時代はとても楽しかったです。

そして、私は中学生になりました。新生活が始まり、「また新しい友達ができる」。と思っていました。しかし、ある日突然、私はクラスメイトに避けられ、無視をされるようになってしまいました。とてもショックでした。やがて、ほとんどのクラスメイトが私から離れ、気がつくとは私は孤立していました。学校での時間は、私にとって孤独の時間でもありました。

そんな時、幼なじみの4人が私を心配して毎日、家に来てくれたのです。この友情が私の厳しかった時を救ってくれました。私が以前のように外に出て遊んだり、笑ったりしなくなってしまうことに気づき、何か深刻な事を抱えていると感じた彼らが、「石垣に戻ってはどうか？ その方がより幸せになれるのでは？」と、アドバイスをくれたのです。私はその時、彼らも私を遠ざけようとしているんだと思ってしまいましたがよく考えてみると、私には環境を変えることが今とても必要な事、彼らが言っていることは私を救うための本当のアドバイスなんだ。分かりました。

不登校、いやがらせ、いじめ、自殺、悲しい事が人生では起こることもあります。人は人を傷つけることもできるし、また幸せにしてあげることもできます。私は、自分の経験から学びました。いい友人関係でいることや人を思いやることがついには、私の友達がやってくれたように、ストレス、不幸から救ってくれるということ。もし、だれかが落ち込んでいたり、悲しそうにしていたら、笑顔で話しかけてみてください。今、私は石垣で祖母と素敵な友達に囲まれてとても幸せに過ごしています。私が友達からもらった救いの手を笑顔を、今度はだれか困っている人に分けてあげたい。「ありがとう！ 本当の友達！」

## Real Friends

Ishigaki Junior High School

Maeyama Jun

“What is a real friend?” Have you ever thought about it? For most people making friends is not so difficult, but I think that friendship should be a very important part of all our lives.

When I was 8 years old we moved to Okayama prefecture. When I arrived in Okayama, anxiety took a hold of me because I was no longer surrounded by familiar faces. The landscape, smell and temperature seemed very different and at first the culture shock disrupted my sleep and appetite. Luckily four friendly classmates approached me, they helped me discover and learn about my new home. We spent lots of time together playing childish games and having fun in the mountains. Elementary school was a lot of fun.

Then I graduated and became a Junior High School student. A new life had begun, and I thought that I would make new friends again. However suddenly one day, I was avoided and ignored. I was really shocked. Eventually most of my classmates went away from me, without realizing it I was isolated. I felt alone all the time while at school.

Those four childhood friends were worried about me they came to visit me at home every day, their friendship really helped me during this difficult time in my life. They knew something serious had changed because during these hard times I rarely smiled and was no longer outgoing. They said “Why don’t you return to Ishigaki, you may be happier there?” When they gave me this advice it hurt because I felt they were pushing me away, but deep down I agreed with what my friends were telling me, that I desperately needed a change of environment.

Truancy, harassment, bullying, suicide and negativity are sadly an aspect of life. People are able to cause others pain and stress but are also able to make others feel happy and welcome. I have learnt this lesson from my own experience. Being friendly and trying to help others could end up saving them from stress and unhappiness just like my friends helped me. If someone looks down or sad please talk to them and try to help with a friendly voice and a happy smile. Now I am happy here in Ishigaki living with my Grandmother and am surrounded by good friends. I would like to help people in trouble and share my happy smile which I was given from my real friends. I want to say “Thank you”! to my real friends.

9/12(土) 八重山合同庁舎2F講堂にて